

YSCとの3月14日団交報告

YSC（野洲セミコンダクター）の300mmプロジェクトの中止発表を受けて、組合は3月14日にYSCと二回目の団体交渉を行いました。

* YSCは今後の経営計画を明らかにせよ

* 「移籍」を「出向」に戻せ

ご意見は <http://www.bekkoame.ne.jp/i/jmiu-ibm> までお寄せください

か い な

号 外
(2003年3月25日)
JMIU日本IBM支部
野洲分会
責任者 北川定

YSC団交

3・14団交の主な内容は以下のとおりです。

1. 賃上げ

- ・月額昇給 本給：2,100円 業績加給：なし
- ・昇給額の最高/最低 10,000円/200円
- ・昇給前平均本給 256,900円、昇給前平均業績加給+昇給前平均職能手当=計96,100円、以上合計353,000円 昇給率:0.59%
- ・一般職 対象者人数/年齢/勤続年
96/36.3/16.1

組合は「IBMの賃上げの2/3程度。世間の定昇込みの賃上げと比較してもきわめて低額であり、不満である」旨、伝えました。

2. 300mmプロジェクト中止

会社) 300mm中止はエプソンの業績悪化と予定していたYSCの見込み客が米IBMに取られてしまったことも一要因だ。

組合) 経営者の力不足で、経営責任の問題だ。

会社) 現行の200mmラインでどこまでもつのか、5年先10年先のことはわからない。コストプラスをやめるといふ予定はない。

組合) 社員の退職金はちゃんと保管されているのか? みんな心配している。

会社) 信託銀行に保管されていると思う。

一般社員の間では「もともと半導体事業部を最初からつぶすつもりで分割したのではないか」という疑惑さえもささやかれています。東京で行われた対IBMの団交でも「YSCの親会社はIBMコーポレーションであり、日本IBMは関係ない。YSCは今、整理解雇云々の事態ではない」「日本IBMはYSCについて、組合と交渉する立場にない」などと開き直りともいえる態度をとりYSC同様に、不誠実な対応に始終しました。

IDT問題 IBM帰任の要求がまだ実現していない若い出向社員は、不安な日々を送っています。帰任がなくなった者は、e-learningを自習形式で行っていますが、IT戦力になるまでに約3年間の集中教育が必要であり、50歳を既に超えた社員には有益な勉強とは思えません。会社(IDT・IBM)には、本人のスキル、経験を生かせる正式な帰任先を提示する責任があります。

日本IBM

組合に寄せられた情報によると、会社(本社人事)は、3月から5月にかけて、およそ2000人から3000人規模のリストラを計画中とのこと。すでに、退職・転籍を強要されているとの訴えも各職場から出されています。組合はこの件について3月17日付けで大蔵社長宛てに質問状を提出しました。

組合掲示板について

健康管理室前(1号ビル2階社員ルーム前)に組合掲示板が設置されています。